

各位

上場会社名 ピープル株式会社
 代表者 取締役兼代表執行役 桐渕 千鶴子
 (コード番号 7865)
 問合せ先責任者 IR担当 飛田 留美子
 (TEL 03-3862-2768)

平成27年1月期第1四半期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年3月5日付当社「平成26年1月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」において発表いたしました平成27年1月期第1四半期会計期間(平成26年1月21日～平成26年4月20日)の業績予想について、下記のとおり修正いたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年1月期第1四半期個別業績予想数値の修正(平成26年1月21日～平成26年4月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	629	29	21	13	2.98
今回修正予想(B)	734	62	59	37	8.40
増減額(B-A)	105	33	38	24	
増減率(%)	16.7	113.8	181.0	184.6	
(ご参考)前期第1四半期実績 (平成26年1月期第1四半期)	668	△31	17	10	2.34

修正の理由

当38期第1四半期の売上高予想では、国内販売における増税による影響や、主力アイテム(女児玩具、自転車)の大きかりなりリニューアルを控え流通在庫調整期間が入る影響等々、複合的要素から、海外販売を含めても売上高は前年同期間実績を5～6%下回る見通しでしたが、以下の理由により大幅な上方修正となりました。

増税による消費の不透明さは依然として変わらない状況ですが、一部育児用品店等による増税前のセールで高額品の露出が例年に無く流通段階で積極化した事や、増税の影響を受けなかった主力女児玩具ではお人形の着せ替えやお道具等の好調で、大きかりなりリニューアル前の売り減らしが殆ど無く上方に推移した事等も影響し、玩具部門売上が想定を越えて国内販売を押し上げました。自転車の新色切り替えにおいても流通在庫調整に時間を要すると見ていましたが、旧カラー在庫はほどなく消化し、4月度に新色出荷が開始出来た事等も予想の上方修正につながりました。

以上のように主に玩具部門売上が国内販売を前年以上に押し上げ、前期の好調を継続している海外販売を含み、総売上高は予想より16.7%増の7億34百万円となり、前年同期間対比9.8%増となる見通しとなりました。

これらの売上の上方修正に伴い、当第1四半期の営業利益、経常利益、及び純利益段階においても予想を上方修正し、前年同期間対比で増益の見通しをしております。

(注)「平成27年1月期第1四半期決算短信(非連結)」は平成26年6月3日に開示を予定しております。

以上